

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●エリザベス女王杯でリスグラシューがG I 初制覇

11月11日(日)に行われたエリザベス女王杯(G I)ではリスグラシュー(牝4歳/栗東・矢作芳人厩舎)が優勝、G I 初制覇を果たしました。鞍上のジョアン・モレイラ騎手(ブラジル)にとってもJRAのG I 初制覇となりました。

●J.モレイラ騎手がJRA通算100勝を達成

11月11日(日)の5回京都4日・第9レースとして行われた黄菊賞ではコスモカレンドゥラが1着となり、同馬に騎乗したジョアン・モレイラ騎手は、現役90人目となるJRA通算100勝(294戦目)を達成しました。

●3名の調教師が節目の勝利を達成

11月10日(土)の5回東京3日・第3レースではシャドウディーヴァが1着となり、同馬を管理する斎藤誠調教師(美浦)は、現役65人目となるJRA通算300勝(延べ3712頭目)を達成しました。同日の5回京都3日・第12レースではスペシャルホースが1着となり、同馬を管理する西橋豊治調教師(栗東)は、現役108人目となるJRA通算200勝(延べ4834頭目)を達成しました。翌11日(日)の3回福島4日・第5レースではメリオラが1着となり、同馬を管理する中竹和也調教師(栗東)は、現役28人目となるJRA通算500勝(延べ5569頭目)を達成しました。

●サウンドトゥルー、ニシケンモノノフらの競走馬登録抹消

2018年アンタレスS(G III)などの勝ち馬グレイトパール(牡5歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算12戦7勝)、2016年チャンピオンズカップ(G I)などの勝ち馬サウンドトゥルー(騾8歳/美浦・高木登厩舎/JRA通算34戦7勝・地方17戦3勝)、2017年JBCスプリント(Jpn I)などの勝ち馬ニシケンモノノフ(牡7歳/栗東・庄野靖志厩舎/JRA通算27戦5勝・地方11戦4勝)、2017年目黒記念(G II)などの勝ち馬フェイムゲーム(騾8歳/美浦・宗像義忠厩舎/JRA通算27戦7勝・海外2戦0勝)は、11月13日(火)までに競走馬登録を抹消されました。グレイトパールは地方・佐賀競馬、サウンドトゥルーは地方・船橋競馬に移籍し、ニシケンモノノフは北海道新冠町の優駿スタリオンステーションで種牡馬、フェイムゲームは福島県天栄村のノーザンファーム天栄で乗馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ジャパンカップ(東京)に北海道の3歳馬ハッピーグリーンが登録

ジャパンカップ(G I、11月25日、東京)に、ハッピーグリーン(北海道)が登録しました。富士Sで11着だったことに加え、距離も長く、古馬相手のG Iでは荷が重そうです。

●エムオータイショウが短距離重賞2連勝【各地の主要2歳重賞】

イノセントC(11月14日、門別、1200m)は、2番手を進んだエムオータイショウ(牡、父スウェプトオーヴァーボード)が残り50mで逃げ馬を捉え、単勝1.1倍の支持に応じてサッポロクラシックCに続く重賞2連勝を果たしました。平和賞(11月7日、船橋、1600m)は、先手を取った6番人気のヒカリオーソ(牡、父プリオーソ)が逃げ切り勝ち。ラブミーチャン記念(11月8日、笠松、1600m、牝馬)は、単勝1.6倍で断然人気の北海道から笠松への移籍馬ボルドーブラージュ(父アイルハヴアナザー)が、2番手追走から4コーナーで抜け出して優勝。ハイセイコー記念(11月14日、大井、1600m)は、6番手から差を詰めた2番人気のラプラス(牡、父カジノドライブ)が直線半ばで差し切っています。

●11月23日の浦和記念(浦和)で重賞3連勝を目指すグリム

浦和記念(Jpn II、11月23日、浦和、2000m)は、3歳馬グリムが最有力、以下アポロケンタッキー、オールブラッシュ、クリソライト、ヒガシウィルウィン(船橋)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1 マッキノンS～トラップフォーフルズがG1 初制覇

11月10日にオーストラリアのフレミントン競馬場で行われたG1 マッキノンS(3歳上、芝2000m)はトラップフォーフルズ(騾5歳、父ポエッツヴォイス)がJ.アレン騎手を背に逃げ切って優勝。キャリア31戦目にして嬉しいG1 初制覇を果たしました。管理するJ.マクレーン調教師もこれが初のG1勝ちです。なお、このレースは昨年トーセンスターダムが勝ったレースで、当時はエミレーツSという名でしたが、元の名称に戻りました。

●ファングティプトン11月セール～最高価格は750万ドル

11月4日にアメリカのケンタッキー州でファングティプトン・ノベンバー・セールが行なわれました。最高価格となる750万ドル(約8億4000万円/1ドル112円で換算)でストーンストリートサラブレッドホールディングスによって落札されたのはレディオーレリア(牝4歳、父スキャットダディ)。同馬は2016年にG1 モルニ賞(芝1200m)とG2 クイーンメアリーS(芝5分)を制して、アメリカ調教馬ながら同年の欧州最優秀2歳牝馬に選ばれた名牝(アメリカ調教馬のカルティエ賞受賞は史上初)。3歳時にもG1 キングススタンドS(芝5分)に優勝しています。